

広報

うわじまちくしょうぼう

第66号

宇和島地区消防本部
宇和島地区防火協会
<http://www.119.uwajima.ehime.jp>



全国統一防火標語

消えるまで ゆっくり火の元 ならめっ子



春の火災予防運動

3月1日～3月7日



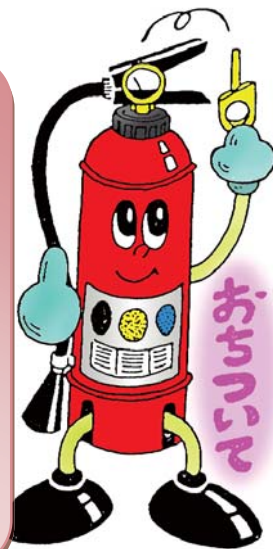
住宅防火 いのちを守る 7つのポイント

3つの習慣

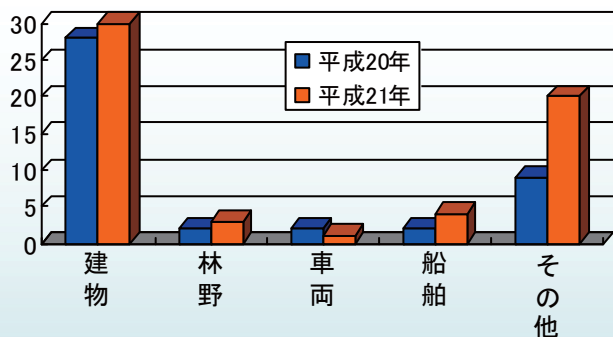
- 1 寝たばこは、絶対やめる。
- 2 ストープは、燃えやすいものから離れた位置で使用する。
- 3 ガスこんろなどのそばを離れるときは、必ず火を消す。

4つの対策

- 1 逃げ遅れを防ぐために、住宅用火災警報器を設置する。
- 2 寝具、衣類及びカーテンから火災を防ぐために、防災品を使用する。
- 3 火災を小さいうちに消すために、住宅用消火器等を設置する。
- 4 お年寄りや身体の不自由な人を守るために、隣近所の協力体制をつくる。



平成21年 火災・救急速報



火災概況

平成21年中に宇和島地区管内で発生した火災は68件で、前年に比べ25件の増加となっています。月平均出火件数は5.67件で、およそ5日間に1件の割合で発生しています。

火災種別では、建物火災が36件で群を抜いており、損害額においても全体の5,841万5千円のうち、建物火災の損害額が5,606万7千円となっており、全体の95.9%を占めています。

出火原因では、放火19件、ごみ焼き6件、火入れ5件、たばこ5件、たき火4件その他29件となっており、2月から4月にかけて宇和島市内で発生した連続放火事件もあり、近年になく放火による火災が多く発生している状況です。

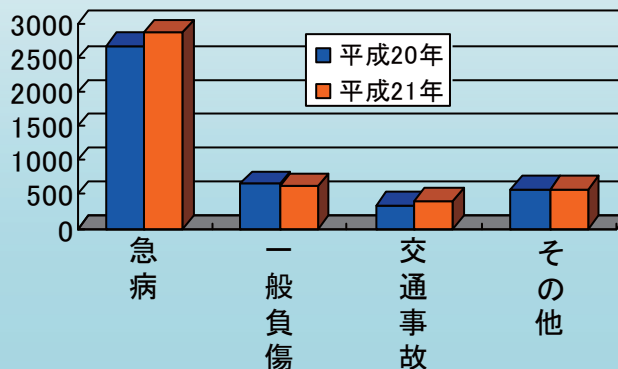
救急概況

平成21年中の救急出場件数は、4,483件で、前年に比べ227件、搬送人員においても4,318人で247人の増加となっています。

事故種別では急病が2,877件(64.2%)で半数以上を占めています。

年齢区分では65歳以上の高齢者の割合が全体の63.7%を占め、全国平均の48.3%と比べても著しく高くなっており、救急件数の増加の要因と考えられます。

1日あたりの平均出場件数は約12件で、出場が最も少なかった日は、8月1日(土)と11月20日(金)の4件で、最も多かった日は2月3日(火)と3月30日(月)の24件となっています。



昨年十二月二十五日一七時二三分頃に発生した宇和島市御殿町の住宅火災において、当時杉原宏二さん・建太くん親子は、火災現場前の路上を車で走行中、建物の中に炎を発見し、火事ではないかと思ひ、すぐに車を止め、親子で協力して火を消し止めたものです。

これにより、出火当時、建物内に逃げ遅れた女性1名がいました。杉原さん親子の迅速かつ適正な初期消火により、尊い生命と財産を保護するとともに、火災の延焼拡大の防止と被害の軽減に大きく貢献されたものです。

消火協力の親子へ 感謝状贈呈

平成22年2月3日



廃消火器リサイクルシステムの運用開始

消火器の安全な回収のため、新制度が 2010 年 1 月 1 日全国一斉に開始されました。

消火器等を廃棄する際には、リサイクルシールの貼付が必要になっています。

リサイクルシステム開始後に製造される消火器等には、出荷時にリサイクルシールを貼付して販売されます。

既存の消火器等を廃棄する場合、特定窓口等でリサイクルシールを購入（有料）・貼付し、特定窓口・指定引取場所へ廃棄を依頼します。

また、新品・既存ともリサイクルシール以外に保管運搬委託料金等（一次物流費）が必要になります。

必要経費・廃棄方法など詳しいことは、下記消防設備販売店までお問い合わせください。

消火器リサイクルシール

【社会実験用】

【新製品用】

【既製品用】



新システム開始後の2010年に製造される消火器には、工業会及びメーカーが費用を負担したリサイクル実験シールが貼付されています。



2011年以降、新しく購入される消火器には消火器リサイクルシールが貼付されて販売されます。



現在お持ちの消火器を廃棄する場合は消火器リサイクルシールを取扱加盟店でご購入ください。
※シール購入方法は消火器リサイクル推進センターのホームページ (<http://www.ferpc.jp/>) をご覧ください。



問合せ先

※記載の業者は、宇和島地区防火協会会員

- (株)岩本商会 宇和島営業所
宇和島市寿町 2 丁目 3-7 TEL 0895-22-3141
- 喜多商事(株)
宇和島市祝森甲 1687-12 TEL 0895-27-2557
- 宮本防災設備
宇和島市鶴島町 2-22 TEL 0895-22-1553
- 南予総合防災(有)
西予市宇和町稲生 1427 TEL 0894-62-5411

宇和島城防火訓練



鶴島小生徒によるバケツリレー



南中生による消火器訓練

いつ発生するかわからない火災等の災害から貴重な文化財を守るため、「文化財防火デー」の 1 月 26 日、宇和島城天守西側山林から火災が発生したとの想定で訓練が実施されたものです。火災を発見したシルバー人材センターの職員による 119 番通報の後、屋外消火栓を使用した消火訓練及び天守閣見学中の鶴島小学校 4 年生によるバケツリレーが行われ、その後到着した宇和島消防署の隊員による放水と、水幕ホースの放水を実施しました。

また、宇和島消防署で体験学習中の宇和島南中等教育学校の生徒 3 名も訓練に参加し、消火器の取扱い等の指導を受けました。



シルバー人材センターによる放水



宇和島消防署による放水

住宅用火災警報器の設置は終わりましたか？



住宅用火災警報器の設置は、新築住宅では平成 18 年 6 月 1 日から、既存住宅でも平成 23 年 5 月 31 日までに設置が義務付けとなっています。宇和島地区消防本部管内においても、住宅用火災警報器を設置していたため早期に火災に気づき、小さな被害で済んだ奏功事例があります。

「まだ 1 年以上あるやないか！」と思わず、家族や大切な人を火災から守るためにも、できるだけ早く設置しましょう。

住宅用火災警報器に関するお問い合わせは、宇和島地区広域事務組合消防本部 予防課 ☎0895-22-7501

